

2020年 気象庁気象研究所 研究成果発表会

オンラインで伝える研究の最前線

気象研究所では広く一般の方に最新の研究成果について知っていただくため、研究成果発表会を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、下記の通り、オンラインにて開催し、講演動画をホームページに掲載いたします。どなたでもご覧いただけます。

開催期間

2020 12/16(水) 14:00

2021 1/27(水) 14:00

講演動画をホームページに掲載します。
質問も受け付けます。

講演 1



北極域の急速な温暖化

気象予報研究部 主任研究官 庭野 匡思

急速な温暖化が進む北極域で起こる雪氷の融解などの現象を分かりやすく紹介します。

講演 2



令和2年7月豪雨の特徴

— 球磨川流域に記録的大雨をもたらした線状降水帯の構造と発生過程 —

台風・災害気象研究部 室長 益子 渉

記録的な大雨となった「令和2年7月豪雨」をもたらした線状降水帯の構造と発生過程を解説します。

講演 3



集中豪雨予測のための水蒸気ライダーの開発

気象観測研究部 主任研究官 酒井 哲

今年6月25日に長崎県で発生した線状降水帯の観測結果を含め、最新の水蒸気ライダーを用いた研究成果を紹介します。

講演 4



スーパーコンピュータ「富岳」を用いた豪雨や洪水の予測に向けて

気象観測研究部 室長 川畑 拓矢

スーパーコンピュータ「富岳」で大規模な計算を行うと、どのような豪雨・洪水の予測が可能となるか解説します。

講演 5



津波の即時予測技術の発展

— 東日本大震災から10年 —

地震津波研究部 主任研究官 対馬 弘晃

沖合の津波観測データから津波の高さを即時に予測する技術について紹介します。

気象研

特設ページURL:

<https://www.omb.co.jp/kishoken-online2020/index.html>



気象研究所企画室 つくば市長峰1-1
TEL: 029-853-8546

主催：気象庁気象研究所

協力：(一財) 気象業務支援センター

後援：地球ウォッチャーズ — 気象友の会 —